

# 倫理・規範意識支柱に

## 第32回新指導員学校



指導員の仕事について解説する亀卦川茂指導員

採用三年程度までの指導員を対象とした「第三十二回新指導員学校」(岩手県学童保育連絡協議会主催)は六月四日に、盛岡市みたけの青少年会館で開かれ、県内各地から七十八人が参加し、学童保育の歴史や指導員の仕事の基本を学びました。

### 指導員の基本を学ぶ

はじめに「学童保育の歴史」について嘉村祐之氏(全国連協副会長・盛岡市指導員)が講話を行いました。嘉村氏は「現場の指導員や保護者が国を動かし

学童をつくってきた。学童は今もつくられている最中だ」と話しました。さらに指導員の位置づけの変遷に触れながら「運営指針により専門資格が必要となり、常に勉強が必要になった」と経験や専門性が重視される職業であると説明しました。続いて「指導員の仕事」と題して、亀卦川茂氏(全国連協副会長・埼玉県富士見市指導員)が講義を行いました。温かい語り口で会場を和ませながら指導員として求められることの基本を解説し「倫理、規範意識を仕事の支柱に据え、子ども一人ひ



10人程のグループに分かれて行われたテーブルトーク

とりを受け止めながら、安心できる人間関係を築くこと。信頼関係そのものが安心できる生活につながっていく」と述べました。また、子どもたちが学童保育で安心して生活するためにには指導員の姿勢「子ども観」が問われるとし「指導員によって受け止め方は多様。複数の指導員で話し合うことで『子ども観』が広がっていく」と指導員間の連携の大切さを語りました。午後は阿部脩平指導員



岩手県学童保育連絡協議会  
〒020-0122  
盛岡市みたけ3-38-20  
岩手県青少年会館内  
Tel・Fax 019-681-0651

### 定期総会 盛岡・岩手大学で開催

新年度の活動方針などを討議する県連協の定期総会は六月二十五日に盛岡市の岩手大学で開催されます。総会の冒頭、東京三多摩連絡協議会の古谷健太氏を迎え学習会を予定しています。

### 先輩の経験談参考に

佐々木 英利奈 さん

(花巻市・新堀学童クラブ)

学童で働き始めて1カ月、何もわからないまま参加させていただきました。保護者と先輩方が重ねてきた学童の歴史や経験談は、とても勉強になりました。特に高橋結依さんの失敗談やその時自分はどうな行動をとった、どうやって気持ちを切り替えた等を聞いて良かったです。どんな対応が良いのか悩むなか、参考になりました。色々な問題や失敗の経験談を聞ける場があれば参加して、児童や保護者の不安を最小限にすることにつながっていきたいです。

### 参加者の感想

### 新鮮な気持ち大切に

下権谷 かおり さん

(滝沢市・撫子学童クラブ)

指導員の方々の経験談、テーブルトークでの交流は大変勉強になりました。自分が今できることは、子どもたちがほっと安心してくつろげる毎日の生活の場をつくること。すなわち、児童、保護者、指導員のパイプを強くすること。そのためには、寄り添い、あせらず、安心して心開ける関係を築いていくことだと思いました。指導員同士の共通理解のもと、この学びの新鮮な気持ちを大切に充実した保育を続けたいと思います。

員(花巻市)、高橋結依指導員(北上市)による経験談発表の後、テーブルトークが行われました。「高学年との向き合い方が分からない」「保護者と子どもの様子を伝えても反応が薄い」とつくみ合いをどう止めればよいか」など様々な疑問や悩みを出し合いながら交流と意見交換を行いました。